2025年度以降の給

与への反映について県



## 2024年度からの 大崎宗高寺子校教戦員和百 〒850-0013 長崎市中川2丁目2番5 長崎高教組会館 ☎ (095) −827−5882 Fax (095) −826−2976 編集責任者 佐藤真一郎 購読料 一部10円 組合員は組合費に含む メールアドレス naga-kks@fsinet.or.jp ZE<mark>NK</mark>YO

交渉は、今回で通算8回目となります。交渉には、高教組本部から鍛冶委員長以下、執行部4人が参加し、 県教委は、高稲教職員課長、初村人事管理監、他6人が対応しました。 10月14日、県教委は2024年度以降の人事評価制度について提案を高教組に行いました。この制度の

組 %以内・S40%以内ま が5%以内にとどまっ のように変更する再提 となる教職員の区分が で大幅に広げ、これま がらない教職員の二つ 与が上がる教職員と上 にとられていたA評価 で通りの昇給で、幅広 ていた区分を、SS10 は、昇給する評価SS 案を示しました。概要 教委は、別表(裏面) 縮小されることになっ

最大50%の教職員の昇 元措置を奪うことで、 帰した教職員の昇給復 廃止や病気を克服し復 育に携わる職員の昇給 な特徴でもある離島教 ます。長崎県の地理的 この制度は成立してい 度を廃止することで、 れており、昇給の原資 給制度の廃止も指導さ 給の原資を賄うことを また、国から特別昇 別表にある特昇制

に分けるものでした。

ています。 高教組は重く受け止め 職員課長から高教組へ提案書が手交されている様子 形で導入するかは、制 価制度を急いで導入す 返しました。高教組は ることを求めているの した従来の回答を繰り る」とし、現場を無視 局をあわせる必要があ 人事委員会が「人事評 た教育委員会と知事部

現場を無視した拙速なプロセス

ばならず、導入が遅れ 価制度は導入しなけれ 価も示されてない中で 今年度4月にスタート らないうちに、次の制 試行の人事評価も終わ たことについて「なぜ 県教委が再提案を示し が名目上の試行として、 度を提案するのか」質 「地公法により人事評 ました。県教委は 高教組は、現行制度 教職員には最終評 組合の間で合意がされ 県教委は「人事委員会 る中で進められていく なことで、任命権者と がある。地公法の改正 はり早く導入する必要 内容を踏まえると、や けてありました。その 報告で、2年3年と続 た。このこと対して、 を高教組は指摘しまし べき話だと思う。」と で平成28年からスター いう見解を示したこと

県がどうなったのか。 組は「先行している他 か。そういうことを述 教育界が良くなったの と回答しました。高教 応しないといけない」 り受け止めた上で、対 の他県も既に導入され ていることを、しっか トしている中で、多く 職の恣意的な評価を許 同様に、人事評価制度 急ぐ必要があるのか」 そういう制度をなぜ今 めているところも多い。 度を民間ではすでにや を賃金に結びつける制 ており、人事評価制度 ろんな職場で報告され の世界だけでなく、い 増えていく傾向が教員 る。スタンドプレーが れるという報告まであ ての共同作業が破壊さ つながらず、組織とし と批判し、これまでと (賃金リンク) が管理

減に関する声が多数寄 ンケートから、業務削 長崎高教組は職場ア 員を平成29年度以前の 絞り込み、関わる教職 実施学年と教科数を

の高文連・高体連に せられたため、9月

を申し入れ、10月5 方改革について懇談 続き、進研協に働き

長の計5名で懇談を行 執行委員長と佐藤書記 名)と高教組から鍛冶 理事長・事務局長(3 日に進研協からは会長・ いました。 これまでの進研協の ている」と答え ました。また きないか検討し さらに削減がで 38名に減らし、 90名から、現在 「作問研修会や

難しい」としながら、 ついては、完全廃止は である県下一斉模試に 協は「一番大きな事業 り組みについて、進研 働き方改革に資する取 業務削減については、

> 進行中である」とし、 選など、見直しは随時 回数削減や研修内容厳

求めました。 れた制度であることを 性・納得性」が担保さ 希望制を取り入れてい 校からの推薦ではなく 「研修の参加形態も各 「そのこ

クの対象となる区分を

上がり、 全体に影

響してい ることが難しくなって いる」と明らかにしま る。全体バランスを取

うになっている。作問

も解禁して、 は時間短縮ができるよ 以前より

> 動力がいる難しい仕事 な気遣いと、大胆な行 根回しをはじめ、繊細

ことによって、評価の 評価者・被評価者の両 客観性などの検証を行 方にアンケートを行う べき」と追及しました。 い、制度改善をはかる 県教委は「もちろん は学校からなくなるか

解を深め、職場でその 金リンク)について理 ことを語り、仲間を増

の人事異動方針により 員が、何度も担当する 進学校だけを回る教職 した。高教組は「現行

負担増について、進研

教職員の任命や業務

る」と答えました。

した。また、作問担当 はないか」と指摘しま ことになっているので

> ている。」と答えまし 終わるようにお願いし く行い、勤務時間内で 検討などは、回数を多

全体が高齢化

し、業務に関

協は「教職員

わる教職員の ても、本人の同意を 者に謝金があるとし モートでのやり取り 研協は「メールやリ うに求めました。進 問題点は改善するよ 得るプロセスなどの

学年主任会なども実施 たかめあい ふれあい 年齢層 W. J. L

今回のような賃金リン とが確認できない限り 拡大する交渉はできな しました。 い」という姿勢を表明

行制 度の検証に消! 極的姿勢

とする「評価の客観性・ 納得できる回答も資料 7回の交渉を行いまし 保される制度を求め、 透明性・納得性」が扣 めに、人事評価の基礎 も示されていません。 た。しかし、これまで

意的な評価を避けるた 高教組は評価者の恣 ず導入して、その後に 改善すべき点は改善す 入を強行した経緯があ ないまま、今年度の導 返し、高教組の合意が る」という回答を繰り 県教委は「とりあえ

は仮説をたて、実験を

した。高教組は「普通 ついては明言を避けま

害は極めて大きくなり

的な検証方法や時期に と答えたものの、具体

囚われるようになれば、 員が自己の成果だけに

子どもたちに与える弊

検証は行う予定である」

ります。このことから、 高教組は「試行されて いる現行制度について、

批判しました。

人事評価賃金リンク

やしていきましょう。

度を生かす上では大切

べてほしい。

やる気に

さない「客観性・透明

働して人を育てる文化 れのある制度です。 てきた協働性を壊す恐 は、これまで学校が培っ しまえば、教職員が協 この制度が浸透して

いのはあり得ない」と める手段を考えていな 行う。実験結果をまと この人事評価制度(賃

組合は

もしれません。。教職

であい

ふれあい

員に敬意を表します。

んでいるすべての教職 です。いま、そこに挑

共にがんばりましょう。

たかめあり

ですが、それぞれの行

力な推進力となるもの タに基づく見直しは強 粛々と見直しをはかっ

統計やデータに基づき、

各学校においては、

ていると思います。デー

事や事業に思いを抱え、

担当者は取り組んでい

ます。行事の見直しは

された皆さんから、高

特支3人)合格

きたことは本当によかっ

試験前に体験で

見も参考になりました。

無事に合格できました。

た。

他教科の先生の意

答えへの指摘を頂き、 ございました。質問の 思います。ありがとう

ました。

回もやはり緊張しまし ていただき、どちらの す。2回とも参加させ

のでしたので、もう本

ることができてよかっ 色々な先生の授業を見

まりにも不甲斐ないも

格されました。(高校 参加され7人の方が合 習会には8人の方が、

今年の採用試験対策学

いますので、

紹介しま

採用試験学習

授業練習、面接練習、

めに頑張りたいと思い

問や面接練習をして頂

いたおかげです。本当

本当にありがとうござ

ます。(高校)

お礼のメールが届いて

教組の学習会の感想、

生方の雰囲気もとても

と思っています。模擬

タートラインに立てた 当の本番で、やっとス ちです。これからが本 当に信じられない気持

ご指導ありがとうござ

いました。長崎県のた

たと思っています。先

(昇給・勤勉手当) への反映について (再提案) 2022年10月14日付

【2024年度】						
評 価(昇	給)区 分	SS	S	A (標準)	В	С
昇 給 号 数	55歳未満	6号給		4 号 給		昇給なし
升和方数	55歳以上	2号給		昇 給	なし	
職員	割合	5%以内	_	_	_	_
1						

	<del>本 . 2 0 2 0 丁</del>	及为件】				
評 価(昇	給)区 分	SS	S	A (標準)	В	С
昇 給 号 数	55歳 未 満	6号給	5号 給	4号給	2号給	昇 給 なし
□昇給号数	55歳以上	2号給	1号 給	昇 給 なし	昇給なし	昇給なし
職員	割合	10%以内	40%以内			_

業績評価の勤勉手当(ボーナス)への反映

2024年度】					
評 価 区 分	SS	S	Α	В	С
成 績 率	標準以上 (0.95+α)		標準 (0.95(※))		標準以下 (0.95-β)
職員割合	5%以内	_	_	_	_

C評価の場合 標準(0.45※)以下の成績率とす

2022年6月期の勤勉手当の成績率

ı	<u> </u>	及 以 阡 】				
ı	評 価 区 分	SS	S	Α	В	С
	成 績 率	標準以上 (0.95+2 α)	標準以上 (0.95+α)	標準 (0.95(※) )	標準以下 (0.95-β)	標準以下 (0.95-2 β)
ı	職員割合	10%以内	40%以内	_	_	_
ı	西	まの担合 さ	亜 淮 ( 0 4 5 )	リトの氏は		

特給全 2025 (1) (2) (2) (3) (3) 給造評度 廃革結廃調等昇 趣をす措よ制旨給る置り度、与。 昇 の果止整に給 及び地方公務員法の趣旨・規定を踏まえ、2025年度へ反映することに伴い、以下の特別昇給制度につい 改価に用職別 2025年度か

適休特 給号数を抑制された者に対する復元措置

天 ル 吋 朔	
年度	給与への反映
2022年度	
2023年度	2022年度評価の反映はなし
2024年度	2023年度評価のSSとCを反映
2025年度	2024年度評価の5段階を反映

これが、戦後」という思いで、長女と次女か自 の立ち入りをした

産業創造館



柴口さんのスライドより。 雑草の茂る我が家の前に、 防護服を着て並ぶ早川さん一家。娘は「これがきん」とつぶやいたとのこと。思い出のつまった大切な場所に二度と戻れない衰しさ、悔しさはどれほどか。

をめざし、仲間ととも 学習会を行いました。 にNPO法人「野馬土 (のまど)」を設立。

月24日、楢葉町・伝言館もしれない」との予言も。=9「次の大事故は、またも日本か「本の大事故は、またも日本かりです。」 」との予言も。=9

行動を行いました。 通り地区への「被災地 をめざす全教は、9月 心・安全な社会の実現 を見る・歩く・考える」 労働組合として、安 24日に、福島県浜 員が参加し、長崎 国から多くの組合 からは岡山執行委 されている方を講師に ほど遠い実態を知り、 の声を聞き、復興とは ない、現地の人々の生 ディアが十分には伝え 員が参加しました。メ を考えました。 な社会が実現できるか どうすれば安心・安全 【学習会】 現地で活動

たのに、政府も東

は、福島の農業の復興 農家の三浦広志さん

るのはみんなの勇 述べ、それを防げ かもしれない」と 国は、またも日本 発大事故を起こす まいけば、次に原 すいので、このま 津波被害も受けや 日本は地震が多く 電も反省がない。 述べました。 気ある行動のみと (次号つづく)

一緒に涙を流し、

色んなつらさを抱えた ま戻らず廃校に。統廃 生徒たちが避難したま その一人ひとりに寄り 子どもたちが集まった とのこと。柴口さんは 合による新設校には、

震災当時の勤務校は

展示されています。 除染の写真や器具、

護服等、約100点が ました。国や東電がこ れまでに配布した原発 が、賠償金などで建て 推進のチラシやポスター 原発反対運動に取り組 んできた早川篤雄さん 早川さんは、「世 最大級の事故だっ

果が出まして、合格す 採用試験の結 だき、実践しました。 の対象を想定し、最初 がたかったです。授業 いうアドバイスをいた いただけたのが、あり ついてのアドバイスを に面接官に説明すると 渉を重ね、線量測定や 農水省や東京電力と交 どにも取り組んでいま 太陽光パネルの普及な

でも弱い立場の人のた

震災時の混乱の

大人がいたことを紹介。 めに行動できた優しい

悪いことばっかりじゃ

励ましてきました。

「ふるさと教育」

お忙しいなか、

ありがたかったです。 でアドバイスいただき、 科の先生だけでなく、 模擬授業について、教

な視点から模擬授業に

被災地を見る・歩く・考える」行動

(全教)

う御座いました。非常 ●貴重なお時間を有難

状態での受験でしたの

気持ちで過ごせました。

たのでなおさらで

2次試験の内容があ

たです。課題面接は くださったので良かっ いろな視点で添削して ●面接調査票は、いろ

事は非常に良かったと

張感の中で練習できた

の学習会をして頂きま

たが、本番に近い緊

●本番前日に模擬授業

時間を割いていただき、

先生方には貴重なお

本当に感謝しています。

に行っているとき以外 面接練習を自分が実際 和やかで、模擬授業や

いました。

(特支)

温かく落ち着いた

何もわからない

に有意義な時間となり

にありがとうございま

教科の壁を越えて様々

会となりました。教員 した。先生方に予想質 採用試験、合格致しま 伝え方を見直すよい機 ついて、

●面接調査票の添削に

ることができました。 有難うございました。

すべてに目を通した上

できました。他の先生 方の模擬授業を見るこ とができて参考になり の雰囲気を知ることが

●課題面接(模擬授業)

労働を愛する気持ちが、 す。交渉ではアイディ 双葉地方の学校の震災 諭・柴口正武さんは、 のこと。自らの故郷と 後11年間の歩みと、現 未来を切り開いている ほぼ実現させていると アでリードし、要求を ように思えました。 浪江町の元中学校教 人々の思いを話し

【伝言館】

区の宝鏡寺の住職で、 たのは伝言館。二葉地 所を見学。最初に訪 2日目はバスで3

でした。 ほしかった」とのこと 話せる子どもになって なかったよ、と力強く

組合は であい ふれあい たかめあり